日本総研
The Japan Research Institute, Limited

回覧				

職場と社員の活性化に向けた取り組み
～組織診断を踏まえた取り組み方向の検討～

参加のおすすめ

組織として高い業績を上げていくために「一人一人の社員を活かして職場を活性化させていく」、ということが欠かせません。成果主義人事制度の導入もそのアプローチのひとつではありますが、制度を導入しただけでは実現できません。運用主体である職場や社員一人一人に対するマネジメントがあって初めて可能になる話です。

そのためには、まず職場の状況や一人一人の状態がどうなっているのか、という現状を正しく認識しなくてはなりません。それを踏まえ自社の状況に合ったマネジメントを考えていくことが求められます。本セミナーでは、「職場と社員の活性化に向けた基本的な取り組み方」と「実際の組織分析」についてご紹介するとともに、参加者の方と一緒にその解決方向を探っていきます。

＊セミナー当日に「自社の職場分析」の診断結果を希望される方については、セミナーに先立ち、株式会社カルディアがホームページ上で実施する分析用の診断テスト（最大５名までを対象）をお受けいただくことができます。お申し込みいただいた後にあらためて診断テストについてご案内をしますので、ご希望のある方は診断手続きをお願いします。なお、この診断テストはご希望の方のみが対象となります。また診断テストにより個人情報を収集するものではありません。

日　時	平成18年9月29日(金)　13:30～16:30　(13:00受付開始)
会　場	㈱日本総合研究所　東京本社(一番町)1F　102　(プレゼンテーションルーム)
対　象	総務･人事･経営企画部門の担当役員･管理職
定　員	10名　(定員になり次第受付を終了致します。原則として1社1名の参加とさせていただきます)
受講料	5，250円　(消費税込み)
講　師	日本総合研究所　研究事業本部　上席主任研究員　小林　卓也 株式会社カルディア　マーケティング部マネジャー　石見　忠士

プログラムの内容

第１部　職場の活性化に向けたマネジメントのフレームワーク

１．組織マネジメントの視点
- ◆組織を形成する
- ◆組織と人材を関係付ける
- ◆組織を動かす

２．人材マネジメントの視点
- ◆人材を獲得して育てる
- ◆人材を処遇する
- ◆人材を活かす

第２部　職場の簡易診断と取り組み（ワークショップ）

１．職場の簡易診断
- ◆ 診断ツールの解説
- ◆ 職場診断の結果の解説

２．職場診断に基づく改善方向の検討
- ◆診断結果を参考にディスカションし、これからの取り組みの方向性を探る